

健康づくりは…… まず 歩くことから! みんなで 参加しよう。 健康ハイキング!



十月十日の「体育の日」に恒例の健康ハイキングを開催します。ご家族おそろいで参加ください。あったかいト汁、レクリエーション、参加記念品が皆さんをお待ちしています。

日時 十月十日(体育の日)
〇午前9時30分、中央公民館前集合、10時出発
〇矢代田駅前11時集合
場所 新津市金津・堀出神社(町から往復約10キロ)
参加者 全行程歩ける人(小学生以下は保護者同伴のこと)
申込み 十月五日までに教育委員会、または役場保健衛生係へ
その他 (1)昼食、食器等は各自持参
(2)雨天の場合、中央公民館でレクリエーション大会
主催 小須戸町・教育委員会
健康づくり推進協議会

10月14日 県下一斉 空き缶ゼロ作戦

小須戸町では、昭和五十七年十一月十四日に「空き缶ゼロの町」宣言をし、以来、毎年皆さんの協力を得て、「空き缶ゼロ作戦」を行っています。

これは、町と公衆衛生協会の主催で春秋の二回行っているものです。五十九年度もおかげさまで四月に一回開催しました。つきましては、今年度第二回

キノコ中毒 予防研修会を開催します

日時 十月十二日(金)
午前9時～午後2時30分
集合 矢代田・村柘産業(株)駐車場
主催 新津食品衛生協会、小須戸町食品衛生協会
後援 新津保健所、小須戸町、小須戸町商工会

日程と内容
(1)キノコ現地採取は午前9時から11時半まで行う。
●案内者の指示に従い、採取後

交通安全家庭の日

十月十日(水)
《今月のテーマ》
〇お互いにゆずりあつて、ゆっくり走りましょう

雨天の場合十月二十八日
※詳細については、全戸にチラシを配布いたします。

農村婦人講座を 開催します

最近、各家庭に出入っている生活用品の中で、早くて便利をモットーにしたためか、その使用方法を一步まちがうと取り返しのつかないものがたくさんあります。

そこで、役場では家庭の主婦を対象に次の方法により、「農村婦人講座」を開催します。

〇近所おさそいあわせのうえ、多数受講くださるようお知らせします。

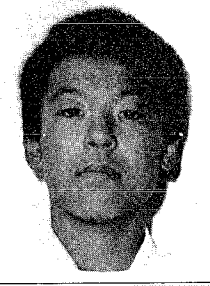
開催日時 十月十八日(木)
午前9時30分
場所 中央公民館
受講料 無料
講座内容
①電気講座(東北電力)
〇知っておきたい電気の知識
〇電気料のしくみ
〇奥様にもできる簡単な修理
②美容講座
専門家によるモデルを使つての実習
〇お肌の手入れ、日焼け止めの肌荒れ防止
なお、講師はそれぞれのメーカーより派遣される予定です。受講希望者は、地区の農家町民生活課保健衛生係へどうぞ組長長にお申し込みください。(粗品、資料有)

第6回新潟県少年の主張三市中蒲地区大会



去る9月10日に小須戸中学校で第6回新潟県少年の主張三市中蒲地区大会が行われました。

この大会は、中学生が日頃考えている清新かつ建設的な意見を発表することで、健康な心身づくりに努めるとともに、地域の皆さんから青少年の健全育成に対する理解を深めていただくことを目的に開催されたものです。三市中蒲地区から12名の発表がありました。ここでは当日、小須戸中学校を代表して発表された伊藤定行さん(2年)の主張を紹介いたします。



NHKドキュメントを見て 「私立目黒高校野球部」 勝利は遠かった

小須戸中学校二年 伊藤 定行

私は、現在野球部に所属しています。先日、テレビで目黒高校野球部のこと放映され、それを見てから自分なりの本当の野球を知ったように思います。部員の何人かが、高校生らしくないことをし、その人達のために一年間試合ができなくなりました。

一年間、試合ができないのだから、部員の人達は、部をやめたくなるだろうと思いました。しかし、野球部員は、一人として罪をおかした人達に非難の目は向けず、また一人もやめるなどと言わず、一年後の試合を夢見て練習にはげんでいたのです。

目黒高校は、東京の家やビル、マンションが立ち並ぶ地域の中に位置する高校です。そこには、野球を広くとやれるグラウンドはなく、野球の練習よりもラグビーの練習を主としてとり

入れ、足腰の筋肉アップに力を入れていました。

目黒高校は、ラグビーの名門校です。そのため監督は元ラグビー部の監督で、ラグビー部時代の時、監督が買い取った下宿所で部員は下宿していました。そこから、学校へ通ったり、練習にはげんでいます。

学校では、ラグビーの練習の他に、キャッチボールを主としてやっています。キャッチボールといっても、間隔は十メートルぐらいの間隔です。いくらキャッチボールと言っても、肩をほぐすためのキャッチボールではなく、遊びでやっている感じなのです。それから、雨の日には、誰もいない水たまりがいくつもできている川岸で守備の練習に力を入れていました。ほかが見る限り、部員の人達には悪いがあまりうまくなかったです。しかし、選手の間を見る限り

一人としてふざけている人は見あたりませんでした。本当の野球というものは、自分なりに考えると、「やる気」が一番大切だと思えました。その点で見ると、一年間試合ができなくなりましたが、歯をくいしばって練習に耐える「やる気」、次に「本気」というのも大切だと思えます。

本気でやらなければ、野球に限らず他のスポーツ、勉強でも本身に身についたことにはならないと思います。この野球部員には「やる気」「本気」というものが部員一人一人にあり、それを発揮することによって、一年間試合ができなくても耐えられ、厳しい練習にも耐えられる気力を持っていることになりました。

これこそ、真の野球の本当の意味なのではないかと思えます。これこそ、本当の野球というものではないでしょうか。

このことをいかして發揮し、近い試合に自分達の精一杯の力を出してほしいと願っています。あれから一年、いよいよ試合となりました。相手は強豪東海大相模高校でした。相模は部員数も多く、例年になく強打者が多くいて設備もよく、ピッチングマシンが設けられていました。強豪相手との一回は両校無得点であったが、二回から相模

の打線が火をふき、着実に点をかき重ねました。結果は、三十一対〇で相模の圧勝でした。結果はどうしても、守備のまずさ、打線のつながりがなく練習の成果は十分には出なかったと思えました。

しかし、それから何試合か練習試合をやって八対七と一点差まで追いつけるほどになりました。このように、練習の成果は少しづつ表われていたのです。試合ごとに着実に力をつけていくことは大変なことですが、よくやっていると思いました。

目黒高校の選手が、額に汗をかき、顔中どろんこになりながら黙々と練習する姿は強く心に刻みこまれています。

私は、毎日野球の練習をしていて、時々なまけたくなる時がありました。キャプテンをしています。自分の思うように部員が動いてくれなかったり、顧問の先生におこられたりしました。大勢の部員をまとめて引っばっていく重荷のようなものも感じていました。でも、このテレビを見てから、少し考え方は変わりました。

私も、この目黒高校野球の精神を忘れずに何事にも全力投球していきたいと思えます。